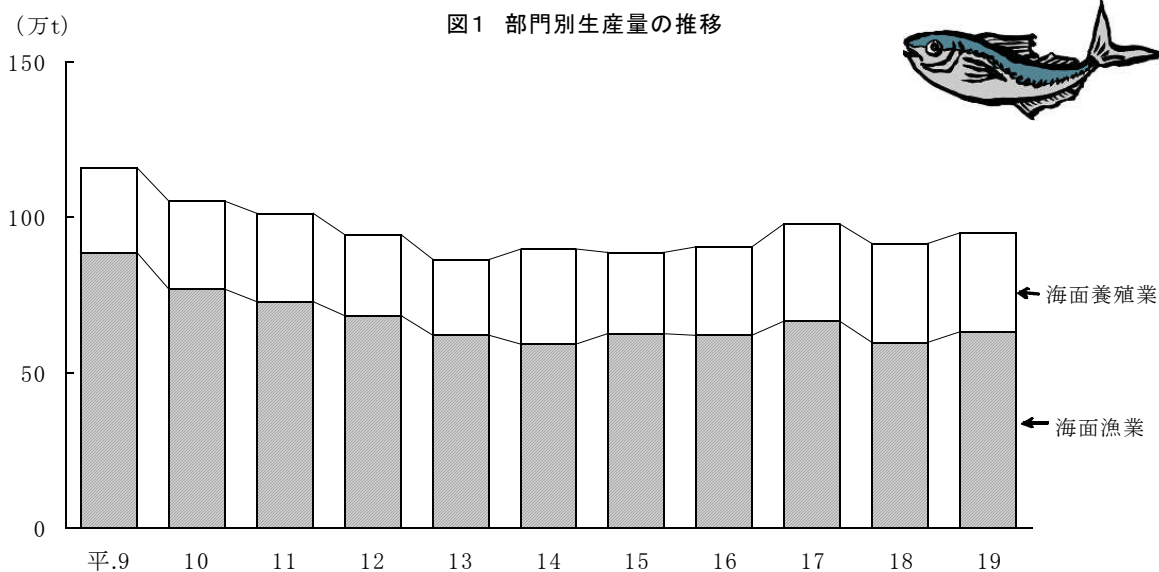


平成19年九州の海面漁業・養殖業生産量（概数）

－海面漁業・養殖業生産量は、前年に比べ4%増加－

【調査結果の概要】

- 1 平成19年（1月～12月）の九州における海面漁業・養殖業の生産量は95万500 tで、前年に比べ3万7,800 t（4%）増加しました。
これを海面漁業、海面養殖業別にみると、ともに増加しました。
なお、生産量に占める海面漁業漁獲量の割合は66%となりました。
- 2 海面漁業の漁獲量は63万700 tで、前年に比べ3万1,500 t（5%）増加しました。
これは、まあじ、かつお類等は減少したものの、いわし類、さば類等が増加したためです。
- 3 海面養殖業の収穫量は31万9,800 tで、前年に比べ6,300 t（2%）増加しました。
これは、のり類、ぶり類等が増加したためです。



この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht_all.html】

【解説】

1 海面漁業漁獲量

－63万700tで前年に比べ5%増加－

(1) 主な漁業種類別漁獲量

ア 中・小型まき網

中・小型まき網の漁獲量は17万8,900tで、前年に比べ2万4,600t(16%)増加しました。

これは、いわし類等が増加したためです。

イ 大中型1そうまき網

大中型1そうまき網の漁獲量は14万7,900tで、前年に比べ1万100t(7%)増加しました。

これは、あじ類は減少したものの、さば類等が増加したためです。

ウ まぐろはえ縄

まぐろはえ縄の漁獲量は3万7,500tで、前年に比べ5,200t(12%)減少しました。

これは、きはだ、めばち等が減少したためです。

エ 船びき網

船びき網の漁獲量は3万2,800tで、前年に比べ2,100t(7%)増加しました。

これは、しらす等が増加したためです。

オ 定置網(大型・小型)

定置網の漁獲量は3万400tで、前年に比べ1,900t(7%)増加しました。

これは、まあじ等は減少したものの、するめいか等が増加したためです。

カ いか釣

いか釣の漁獲量は2万8,900tで、前年に比べ4,500t(13%)減少しました。

これは、するめいかは増加したものの、あかいかは減少したためです。

図2 主な漁業種類別漁獲量の推移-1

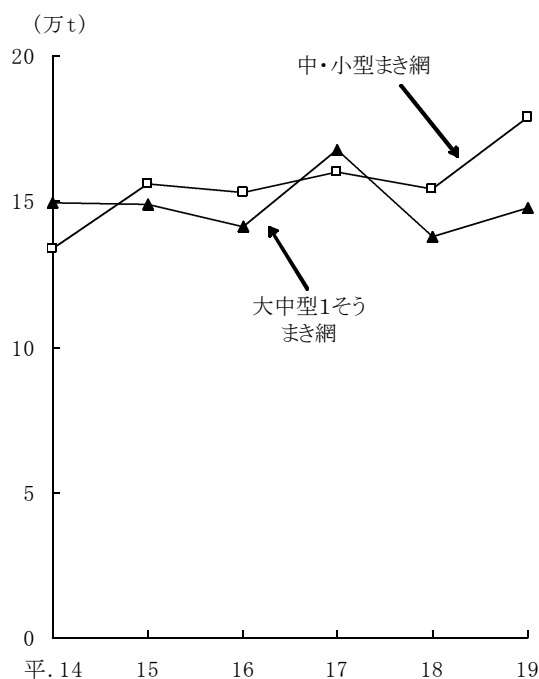
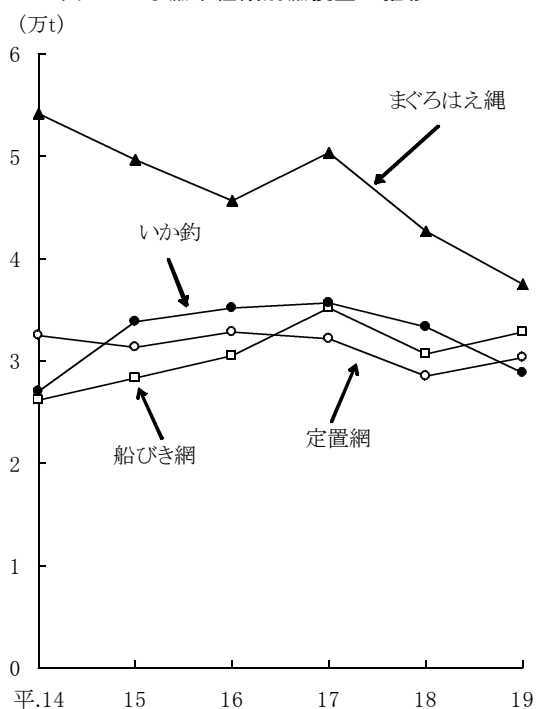


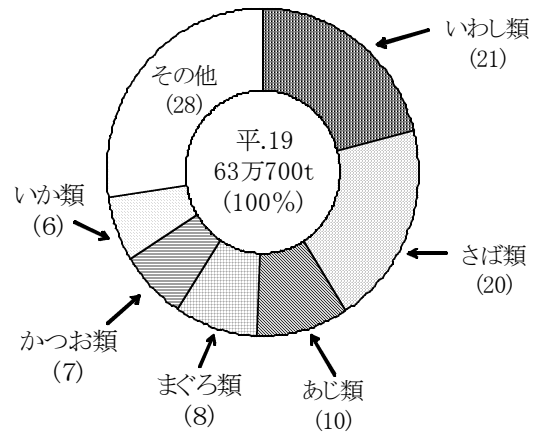
図3 主な漁業種類別漁獲量の推移-2



(2) 主な魚種別漁獲量

漁獲量に占める魚種別の構成割合は、いわし類が21%で最も高く、次いでさば類が20%、あじ類が10%、まぐろ類8%となっています。

図4 魚種別漁獲量の構成割合



ア いわし類

いわし類の漁獲量は13万1,800tで、前年に比べ4万1,900t(47%)増加しました。

これは、かたくちいわし、まいわし等が増加したためです。

イ さば類

さば類の漁獲量は12万7,100tで、前年に比べ5,300t(4%)増加しました。

これは、大中型1 そうまき網等で増加したためです。

ウ あじ類

あじ類の漁獲量は6万800tで、前年に比べ1万800t(15%)減少しました。

これは、まあじが減少したためです。

エ まぐろ類

まぐろ類の漁獲量は5万2,900tで、前年並みとなりました。

オ かつお類

かつお類の漁獲量は4万5,100tで、前年に比べ8,200t(15%)減少しました。

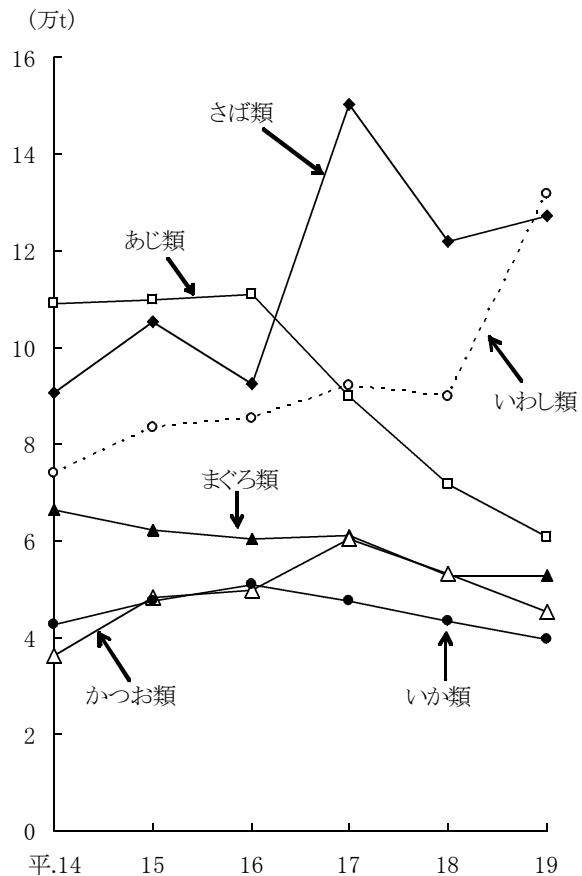
これは、かつお、そうだかつお類が減少したためです。

カ いか類

いか類の漁獲量は3万9,700tで、前年に比べ3,700t(9%)減少しました。

これは、するめいかは増加したものの、あかいかは減少したためです。

図5 主な魚種別漁獲量の推移

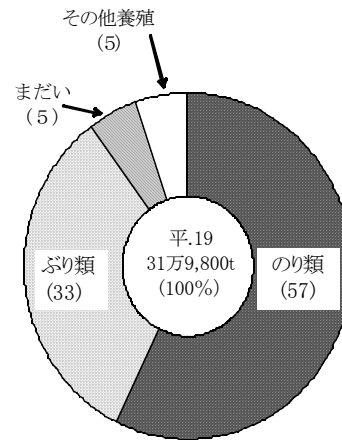


2 海面養殖業収獲量

—31万9,800tで前年に比べ2%増加—

収獲量に占める魚種別の構成割合は、のり類が57%で最も高く、次いでぶり類が33%となっています。

図6 養殖魚種別収獲量の構成割合

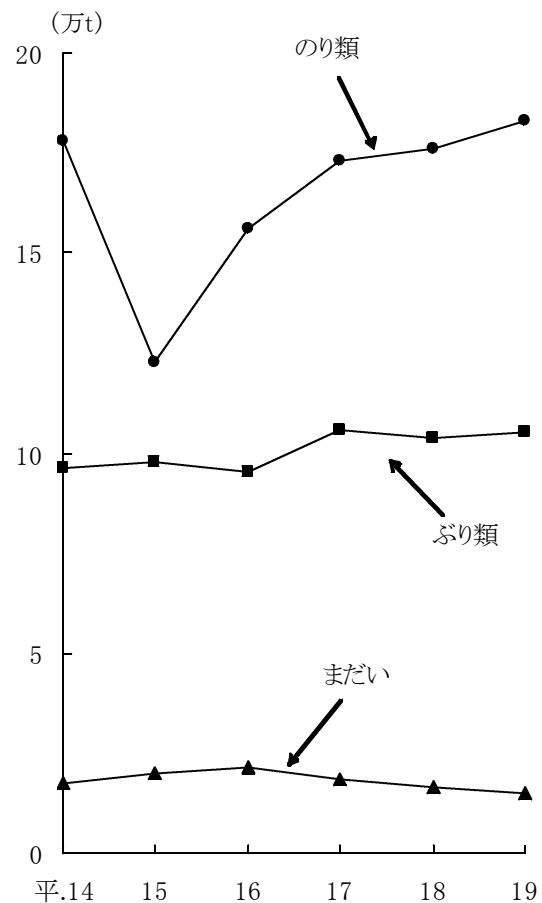


ア のり類

のり類の収獲量は18万2,800tで、前年に比べ6,500t (4%)増加しました。

これは、気象・海況に恵まれたことや、病気の発生も少なく生育が順調に経過したためです。

図7 主な養殖魚種別収獲量の推移



イ ぶり類

ぶり類の収獲量は10万5,200tで、前年に比べ1,700t (2%)増加しました。

これは、需要の増加がみられたためです。

ウ まだい

まだいの収獲量は1万4,800tで、前年に比べ1,800t (11%)減少しました。

これは、規模縮小や他魚種への転換等により減少したためです。

【統計表】

1 海面漁業・養殖業生産量総括表

単位：100t

年次	計	海面漁業	海面養殖業
平. 9	11 593 (100)	8 868 (76)	2 726 (24)
1 0	10 511 (100)	7 660 (73)	2 851 (27)
1 1	10 106 (100)	7 246 (72)	2 860 (28)
1 2	9 434 (100)	6 834 (72)	2 600 (28)
1 3	8 613 (100)	6 208 (72)	2 404 (28)
1 4	8 983 (100)	5 897 (66)	3 086 (34)
1 5	8 845 (100)	6 271 (71)	2 574 (29)
1 6	9 061 (100)	6 170 (68)	2 891 (32)
1 7	9 755 (100)	6 625 (68)	3 131 (32)
1 8	9 127 (100)	5 992 (66)	3 135 (34)
1 9	9 505 (100)	6 307 (66)	3 198 (34)
対前年差	378	315	63
対前年比(%)	104	105	102

注：()書きの数値は構成割合(%)です。

2 海面漁業

(1) 主な漁業種類別漁獲量

単位：100t

漁業種類	平. 1 9	1 8	対前年差	対前年比(%)
計	6 307	5 992	315	105
1) 小型底びき網	173	134	39	129
2) 船びき網	328	307	21	107
大中型1そうまき網	1 479	1 378	101	107
3) 中・小型まき網	1 789	1 543	246	116
刺網	168	174	△ 6	97
定置網(大型・小型)	304	285	19	107
4) その他の網漁業	105	110	△ 5	95
まぐろはえ縄	375	427	△ 52	88
かつお一本釣(遠洋・沿岸)	161	142	19	113
いか釣	289	334	△ 45	87
ひき縄釣	75	64	11	117
5) その他の釣	164	171	△ 7	96
6) 採貝・採藻	190	207	△ 17	92
上記以外の漁業	707	716	△ 9	99

注：平成18年値は、平成19年調査の項目に合わせ組替集計を行った値である。

平成19年調査より、

1)は、「縦びき1種」、「縦びきその他」、「横びき」を統合し、「小型底びき網」とした。

2)は、「ひき回し網」、「ひき寄せ網」を統合し、「船びき網」とした。

3)は、「1そうまき巾着網」、「2そうまき巾着網」、「その他のまき網」を統合し、「中・小型まき網」とした。

4)は、「地びき網」、「その他の敷網」、「その他の網漁業」を統合し、「その他の網漁業」とした。

5)は、「さば釣」、「その他の釣」を統合し、「その他の釣」とした。

6)は、「採貝」、「採藻」を統合し、「採貝・採藻」とした。

(2) 主な魚種別漁獲量

単位：100t

魚種	平. 19	18	対前年差	対前年比(%)
合計	6 307	5 992	315	105
魚類計	5 511	5 184	327	106
まぐろ類	529	528	1	100
かじき類	33	30	3	110
かつお類	412	457	△ 45	90
そうだかつお類	38	76	△ 38	50
このしろ	41	26	15	158
まいわし	164	41	123	400
うるめいわし	300	203	97	148
かたくちいわし	705	534	171	132
しらす	148	122	26	121
まあじ	510	623	△ 113	82
むろあじ類	97	92	5	105
さば類	1 271	1 218	53	104
ぶり類	180	165	15	109
ひらめ・かれい類	31	37	△ 6	84
たちうお	78	57	21	137
まだい	62	58	4	107
ちだい・きだい	31	31	0	100
さわら類	40	38	2	105
ふぐ類	15	15	0	100
1) その他の魚類	702	732	△ 30	96
上記以外の魚類	124	101	23	123
えび類計	28	29	△ 1	97
くるまえび	3	4	△ 1	75
その他のえび類	25	25	0	100
かに類計	14	12	2	117
がざみ類	10	9	1	111
その他のかに類	4	3	1	133
貝類計	225	175	50	129
あさり類	109	113	△ 4	96
2) その他の貝類	88	35	53	251
上記以外の貝類	28	27	1	104
いか類計	397	434	△ 37	91
するめいか	160	106	54	151
あかいか	106	191	△ 85	55
3) その他のいか類	131	137	△ 6	96
たこ類	47	46	1	102
うに類	18	20	△ 2	90
4) その他の水産動物類	17	21	△ 4	81
海藻類計	51	69	△ 18	74
5) その他の海藻類	51	69	△ 18	74

注：平成18年値は、平成19年調査の項目に合わせ組替集計を行った値である。

平成19年調査より、

- 1)は、「めめけ類」、「にべぐち類」、「えそ類」、「いぼだい」、「はも」、「えい類」、「しいら類」、「とびうお類」、「ぼら類」、「その他の魚類」を統合し、「その他の魚類」とした。
- 2)は、「はまぐり類」、「うばがい(ほっき)」、「さるぼう(もがい)」、「その他の貝類」を統合し、「その他の貝類」とした。
- 3)は、「こういか類」、「その他のいか類」を統合し、「その他のいか類」とした。
- 4)は、「なまこ類」、「その他の水産動物類」を統合し、「その他の水産動物類」とした。
- 5)は、「ひじき」、「わかめ類」、「てんぐさ類」、「その他の海藻類」を統合し、「その他の海藻類」とした。

3 海面養殖業

主な海面養殖業魚種別収穫量

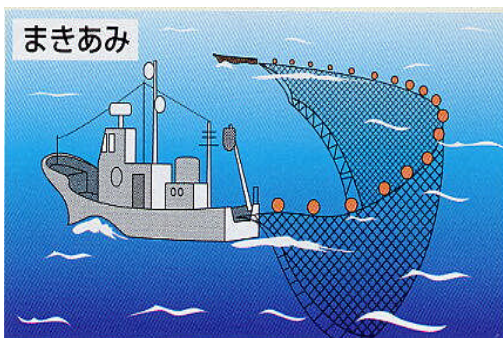
単位：100t

魚種	平. 19	18	対前年差	対前年比(%)
合計	3 198	3 135	63	102
ぶり類	1 052	1 035	17	102
まだい	148	166	△ 18	89
くるまえび	10	10	0	100
わかめ類	19	19	0	100
のり類	1 828	1 763	65	104
上記以外	141	142	△ 1	99

注:のり類については、生換算した重量です。

〔統計表の見方等〕

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。
- 表中に用いた記号は以下のとおりです。
 - 「△」は減少したもの
 - 「○」単位に満たないもの

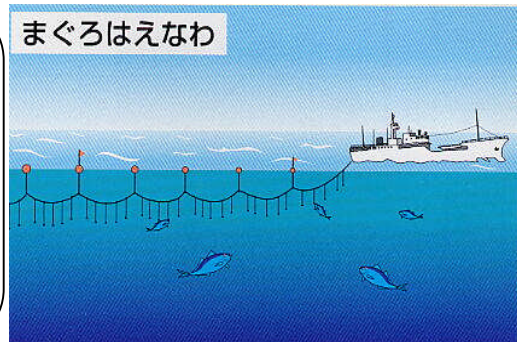


回遊魚を網具で包囲し、その逃路を断ち次第に包囲形を縮小して採捕する漁業。

平成19年に増加した主な魚種は、いわし類、さば類でした。

幹繩に多数の枝繩を付け、この先端に釣り針を結着した漁具を横に長く延べて行う漁業。

遠洋まぐろはえ繩の幹繩の長さは数十kmに及び、沿岸で使用されるものでも10km程度のものである。



【調査の仕様】

1 調査の目的

海面漁業生産統計調査は、我が国の海面漁業、海面養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政の資料を整備することを目的としています。

2 調査の対象

海面漁業生産統計調査のうち、海面漁業漁獲統計調査及び海面養殖業収獲統計調査は、原則、水揚機関を対象とし、水揚機関で把握できない場合に限り、海面漁業経営体を対象としました。

また、稼働量調査については、平成19年調査からかつお・まぐろ類に係る漁業種類のうち、漁獲成績等報告書を活用できない漁業種類を営んだ漁業経営体を対象として実施しました。

3 調査期間

調査期間は、平成19年1月1日～12月31日の1年間です。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、陸揚等のために港に入港した日の属する年を含めて調査を行いました。

4 調査方法

平成19年調査から、原則、職員調査を廃止し、調査員調査で実施しました。

なお、往復郵送調査については、職員が実施しました。

(1) 稼働量調査

統計調査員による調査客体への面接聞き取りの方法により実施しました。

(2) 海面漁業漁獲統計調査及び海面養殖業収獲統計調査

ア 水揚機関

統計調査員が調査客体に調査票等を配付し自計申告する方法、電子計算機又は紙に出力された記録を閲覧する方法、又は面接聞き取りの方法により実施しました。

イ 一括調査

統計調査員が調査客体に調査票等を配付し自計申告する方法、又は面接聞き取りの方法により実施しました。

ウ 漁業経営体

往復郵送調査により実施しました。

5 海面漁業漁獲統計調査における漁業種類及び魚種の見直し

平成19年（今回調査）より、以下の通り調査分類の見直しを行いました。

(1) 漁業種類を44分類から34分類に統合しました。

(2) 魚種を85分類から68分類に統合しました。

6 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は平成21年刊行予定の『漁業・養殖業生産統計年報』に掲載します。

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第5係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4755

直通電話： 096-353-7576

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4723

直通電話： 096-353-7556